

情報機器事業

売上高**2,599**億円 営業利益**78**億円(第2四半期累計期間)

売上高**1,327**億円 営業利益**76**億円(第2四半期)

●MFP分野:オフィス用カラーMFP／「bizhub」シリーズ6機種を発売し、従来製品からの切り替えを促進。オフィス用カラーMFPの販売数量は、これら新製品の効果もあって第2四半期は第1四半期に比べ大きく伸長。プロダクションプリント／高速モノクロMFP「bizhub PRO(ビズハブプロ)」2機種を発売。販売数量は国内および北米市場で堅調。カラー機は景気停滞の影響で伸び悩むが、第1四半期以降カラー、モノクロともに増加傾向。

●プリンター分野:オフィス向けにA4タンデムプリンターやA4カラー複合機などの販売強化に取り組んだ結果、欧米を中心にカラー製品が堅調。



●医療・ヘルスケア分野:高画質DR機器、デジタルX線画像入力機器および画像診断ワークステーションの販売強化に加えて、ネットワークを活用したデジタルソリューションサービス商品「infomity(インフォミティ)」を本格展開。国内市場では主力のCR機器「REGIUS(レジウス)」の販売が好調な伸び。

●印刷分野:デジタル印刷機器の販売拡大に取り組むが、国内外の印刷業界における新規設備投資の冷え込みが続き、販売数量は減少。

売上高**529**億円 営業利益**17**億円(第2四半期累計期間)

売上高**292**億円 営業利益**9**億円(第2四半期)

メディカル&グラフィック事業

オプト事業

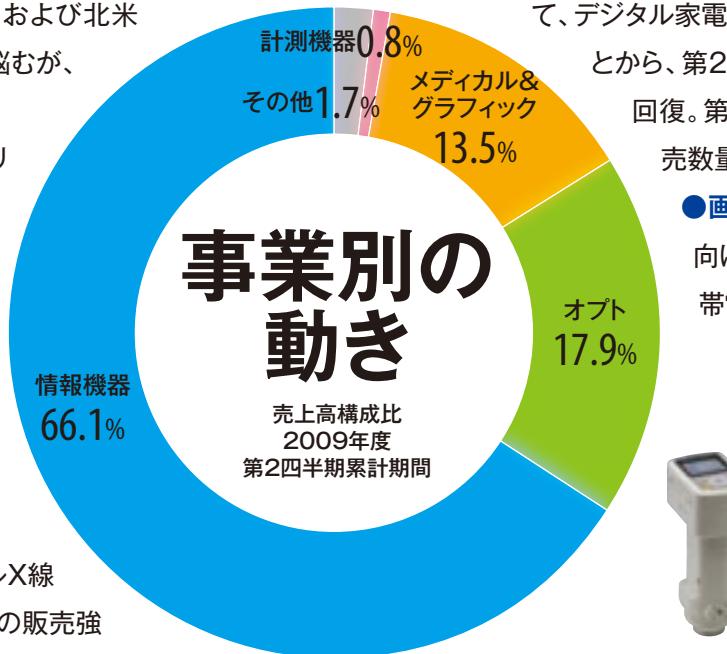
売上高**704**億円 営業利益**61**億円(第2四半期累計期間)

売上高**364**億円 営業利益**44**億円(第2四半期)

●ディスプレイ部材分野:大型液晶テレビ用VA-TACフィルムおよび薄膜フィルムを中心に販売拡大に注力。液晶パネルメーカー各社の生産状況の回復に伴い、販売数量は前年同期並みに回復。

●メモリー分野:CD用やDVD用を含めた光ピックアップレンズ全体として、デジタル家電メーカー向けの需要が回復基調で推移したことから、第2四半期の販売数量は前年同期並みの水準に回復。第2四半期のガラス製ハードディスク基板の販売数量は第1四半期に比べ大きく伸長。

●画像入出力コンポーネント分野:デジタルカメラ向けの販売は堅調。ビデオカメラおよびカメラ付携帯電話用途向けは需要低迷の影響を受け、低調。



三次元計測分野では非接触三次元デジタイザの新製品「RANGE(レンジ)5」、医用計測分野では血液中酸素飽和度計パルスオキシメータの新製品「PALSOX(パルソックス)-1」の発売を開始。しかしながら、製造業における設備投資縮小の影響を受け、日本をはじめ先進国市場における販売数量は伸び悩み。

売上高**30**億円 営業利益(▲損失)▲**3**億円(第2四半期累計期間)

売上高**16**億円 営業利益(▲損失)▲**1**億円(第2四半期)

計測機器事業